



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 日本ゼオン株式会社

コード番号 4205 URL <http://www.zeon.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 田中公章

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 古谷岳夫 TEL 03-3216-2747

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 平成29年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無: 有

四半期決算説明会開催の有無: 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	166,672	18.9	19,907	50.6	21,659	79.0	14,341	77.7
29年3月期第2四半期	140,201	△8.0	13,217	△20.0	12,101	△29.5	8,071	△26.3

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 19,180百万円(－%) 29年3月期第2四半期 △1,086百万円(－%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	64.60	64.52
29年3月期第2四半期	36.37	36.32

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	434,861	263,619	59.5
29年3月期	411,415	244,634	58.4

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 258,804百万円 29年3月期 240,189百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
30年3月期	—	8.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	9.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	325,000	13.0	35,000	13.8	38,000	19.5	25,000	8.0	112.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	237,075,556株	29年3月期	237,075,556株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	15,054,236株	29年3月期	15,093,031株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	221,999,195株	29年3月期2Q	221,934,333株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、平成29年10月31日(火)に証券アナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会の資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間を振り返りますと、国内経済は緩やかな回復基調が持続しているものの、米国政権の政策動向や中東・東アジアを中心とする国際的緊張の高まりなど世界経済をめぐる懸念はなお拭えず、当社グループを取り巻く環境としては先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループはこのような環境のもとで、引き続き「ZΣ運動」による徹底したコスト削減に努めるとともに、エラストマー素材事業におきましては採算性の重視と生産・販売のグローバル展開、高機能材料事業におきましては付加価値の高い新製品の開発と事業拡大に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,666億72百万円となり、前年同期に比べて264億71百万円の増収となりました。また、営業利益は199億7百万円と前年同期に比べて66億89百万円の増益、経常利益は216億59百万円と前年同期に比べて95億57百万円の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は143億41百万円と前年同期に比べて62億70百万円の増益となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

#### (エラストマー素材事業部門)

合成ゴム関連では、世界的に自動車生産台数が伸長したことに加え、海外におけるシェールガス用途等の需要回復を受け、汎用品・特殊品とも販売が好調に推移し、全体の売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

合成ラテックス関連では、手袋用途や樹脂改質用途の販売が堅調に推移したことなどから、全体の売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

化成品関連では、国内およびタイ子会社の販売は堅調に推移しましたが、原料価格上昇の影響を受けたため、全体の売上高は前年同期を上回りましたが、営業利益は前年同期を下回りました。

以上の結果、エラストマー素材事業部門全体の売上高は前年同期に比べて168億92百万円増加し984億49百万円、営業利益は前年同期に比べて30億76百万円増加し113億94百万円となりました。

#### (高機能材料事業部門)

高機能樹脂関連では、光学用途の販売が堅調に推移し、販売数量、売上高ともに前年同期を上回りました。高機能部材関連では、テレビ向け光学フィルムの販売が好調だったことに加え、モバイル向け光学フィルムの販売も好調に推移し、販売数量、売上高ともに前年同期を上回りました。この結果、高機能樹脂および部材全体の売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

情報材料関連では、トナー、電池材料および電子材料の売上高がいずれも前年同期を上回りました。この結果、情報材料全体では、売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

化学品関連では、合成香料、特殊化学品ともに需要は堅調でしたが、出荷数量の調整を行ったことにより、全体の売上高、営業利益ともに前年同期を下回りました。

以上の結果、高機能材料事業部門全体の売上高は前年同期に比べて66億39百万円増加し430億91百万円、営業利益は前年同期に比べて34億96百万円増加し81億93百万円となりました。

#### (その他の事業部門)

その他の事業においては、子会社の商事部門等の売上高が前年同期を上回りました。

以上の結果、その他の事業部門全体の売上高は前年同期に比べて29億25百万円増加し261億61百万円、営業利益は前年同期に比べて2億73百万円増加し16億21百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、4,348億61百万円（前連結会計年度末比234億46百万円増加）となりました。これは主として、現金及び預金、投資有価証券などが増加したことによるものであります。

負債は、1,712億42百万円（前連結会計年度末比44億61百万円増加）となりました。これは主として、支払手形及び買掛金、繰延税金負債などが増加したことによるものであります。

純資産は、2,636億19百万円（前連結会計年度末比189億85百万円増加）となりました。これは主として親会社株主に帰属する四半期純利益、その他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年9月29日に公表しました業績見通しの数値に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,677	27,880
受取手形及び売掛金	70,222	77,098
電子記録債権	2,782	3,493
商品及び製品	43,734	40,450
仕掛品	5,145	3,316
原材料及び貯蔵品	12,978	13,285
未収入金	29,328	26,364
繰延税金資産	3,799	3,767
その他	2,959	5,144
貸倒引当金	△91	△87
流動資産合計	182,533	200,710
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	44,667	44,185
機械装置及び運搬具(純額)	60,351	55,279
土地	18,698	18,323
建設仮勘定	8,046	10,054
その他(純額)	6,297	6,204
有形固定資産合計	138,058	134,045
無形固定資産		
その他	3,857	3,510
無形固定資産合計	3,857	3,510
投資その他の資産		
投資有価証券	76,828	86,745
繰延税金資産	273	258
その他	10,099	9,827
貸倒引当金	△233	△234
投資その他の資産合計	86,967	96,596
固定資産合計	228,883	234,150
資産合計	411,415	434,861

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	63,851	67,110
電子記録債務	2,834	3,310
短期借入金	18,037	17,853
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払法人税等	5,018	5,797
賞与引当金	1,556	1,516
その他の引当金	2,238	1,252
その他	20,719	20,724
流動負債合計	114,253	127,561
固定負債		
社債	20,000	10,000
長期借入金	5,140	3,409
繰延税金負債	8,776	11,804
退職給付に係る負債	12,760	11,843
その他の引当金	626	1,503
その他	5,225	5,120
固定負債合計	52,528	43,680
負債合計	166,781	171,242
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	24,211	24,211
資本剰余金	19,128	19,131
利益剰余金	179,390	193,335
自己株式	△12,275	△12,244
株主資本合計	210,454	224,433
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,767	33,466
繰延ヘッジ損益	△1	0
為替換算調整勘定	4,474	2,985
退職給付に係る調整累計額	△2,505	△2,080
その他の包括利益累計額合計	29,736	34,371
新株予約権	222	212
非支配株主持分	4,224	4,603
純資産合計	244,634	263,619
負債純資産合計	411,415	434,861

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	140,201	166,672
売上原価	99,134	117,145
売上総利益	41,067	49,528
販売費及び一般管理費	27,850	29,621
営業利益	13,217	19,907
営業外収益		
受取利息	56	53
受取配当金	868	1,219
為替差益	—	606
持分法による投資利益	—	133
雑収入	301	302
営業外収益合計	1,225	2,312
営業外費用		
支払利息	269	172
為替差損	1,860	—
休止固定資産減価償却費	111	263
雑損失	99	126
営業外費用合計	2,340	560
経常利益	12,101	21,659
特別利益		
受取補償金	486	—
投資有価証券売却益	9	30
抱合せ株式消滅差益	—	67
その他	94	0
特別利益合計	589	97
特別損失		
固定資産処分損	274	268
関係会社整理損	1,371	—
退職給付制度終了損	—	501
その他	55	25
特別損失合計	1,699	794
税金等調整前四半期純利益	10,991	20,961
法人税等	2,622	6,446
四半期純利益	8,369	14,515
非支配株主に帰属する四半期純利益	298	174
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,071	14,341

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	8,369	14,515
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,499	5,727
繰延ヘッジ損益	3	1
為替換算調整勘定	△8,307	△1,511
退職給付に係る調整額	349	425
持分法適用会社に対する持分相当額	—	25
その他の包括利益合計	△9,455	4,666
四半期包括利益	△1,086	19,180
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,097	18,954
非支配株主に係る四半期包括利益	11	226



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	10,991	20,961
減価償却費	9,362	9,713
のれん償却額	335	335
関係会社整理損失引当金の増減額 (△は減少)	1,204	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△241	△905
受取利息及び受取配当金	△924	△1,272
支払利息	269	172
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,897	△7,724
たな卸資産の増減額 (△は増加)	5,783	4,457
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,512	3,806
その他	△409	855
小計	25,987	30,399
利息及び配当金の受取額	1,670	1,412
利息の支払額	△268	△169
法人税等の支払額	△4,847	△5,418
その他	138	164
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,678	26,388
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△12,497	△4,657
無形固定資産の取得による支出	△345	△624
貸付けによる支出	△3,035	△595
貸付金の回収による収入	2,923	577
定期預金の純増減額 (△は増加)	143	△1,118
長期前払費用の取得による支出	△8	△556
その他	35	148
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,784	△6,824
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△13	1,041
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	3,000	△1,500
長期借入れによる収入	500	—
長期借入金の返済による支出	△10,239	△2,713
配当金の支払額	△1,772	△1,806
非支配株主への配当金の支払額	△5	△67
その他	△102	127
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,631	△4,918
現金及び現金同等物に係る換算差額	△866	132
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	397	14,778
現金及び現金同等物の期首残高	6,832	11,368
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	611	0
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	284
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,840	26,430

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エラストマー 素材事業	高機能材料 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上 高	80,694	36,452	117,146	23,055	140,201	—	140,201
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	864	—	864	181	1,045	△1,045	—
計	81,558	36,452	118,010	23,236	141,246	△1,045	140,201
セグメント利益	8,318	4,697	13,014	1,347	14,362	△1,145	13,217

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、RIM配合液、塗料等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,145百万円は、セグメント間取引消去△61百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,084百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
金額的重要性が乏しいため、記載は省略しております。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エラストマー 素材事業	高機能材料 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上 高	97,556	43,091	140,647	26,025	166,672	—	166,672
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	894	—	894	136	1,030	△1,030	—
計	98,449	43,091	141,541	26,161	167,702	△1,030	166,672
セグメント利益	11,394	8,193	19,586	1,621	21,207	△1,300	19,907

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、RIM配合液、塗料等の販売等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△1,300百万円は、セグメント間取引消去△15百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,286百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
金額的重要性が乏しいため、記載は省略しております。